

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 身体表面分散型エレクトロニクス

2. 個人研究者名

野田 聡人（南山大学理工学部 准教授）

3. 事後評価結果

本研究では、センサーやアクチュエータなどを多数、衣服に埋め込むウェアラブルシステムの構築のために、無配線でこれらの素子を簡単にネットワーク化して外部環境のネットワークや周辺機器と相互に連携するための基盤技術を開発することを目指した。特に、人と環境のインタラクションにおいて、人の状態の計測および人の全身の触覚を含む感覚器官へのフィードバックのための標準的ハードウェアを確立し、インタラクション研究の生産性を向上することを狙った。

結果として、両面電動布を利用した伝送技術を開発し、基盤技術としてこれまでにできなかったことができるようになり高く評価できる。ただし、これがあれば便利、というキラーアプリを完成させるまでには至っていないように見える。LEDの次を見たい。

今後は、今回の設計方式と装着可能な実装を利用することにより、多様な応用分野に貢献ができることを期待したい。